日刊 昭和25年10月6日 【1】「除月曜」 第三種郵便物認可 運輸省特別扱承認第684号
磐城日日
昭和28年・1953年 8月4日 火曜日 第900号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

ゼッタイ安心!!海は小名濱へ

〃恐怖の海〃を返上し

六日（土用うし）は最高の人出予想

海開き早々、續けて三名もの犠牲者を出して海水浴客を震駭させ、恐怖の海と慴れさせた小名濱海水浴場は去る一日の水難防止協議会の決定通り危險區域には標識を流し沖には二隻の監視船を常時浮游させて陸の監視所と緊密な連絡のもとに万全の施策を講じて浴客の恐怖を一掃、絶体の安心感を與えている

行樂の日曜日を颱風五号の爲に滅茶〱にされた海水浴もまた〱硫黄島附近に發生を傳えられる第六號颱の爲に脅やかされているが海水温度も二三日前の冷水から温度をとりもどして海水よくには絶好の二十一度となつており〃土用のうし〃六日から日曜の九日にかけてが今年最好で最後の海水よく日和と云う事になりそうで、異数の長梅雨にたゝられての揚句書き入れの日曜日を颱風に殺ろされた海すいよく場脱衣場も〃会稽の恥?〃を一挙に挽回しようと意氣込んでいる、小名濱はかいすいよくに万全を期している他、すい族館も開館來益々その種類を增加させて夢の國〃龍宮〃を偲ばせながら遊客の社会科に児童の學習に大好評を拍しているなど〃うみへ小名浜へ〃の希望をいやが上にも盛りあげている

泉教委定例会

泉町教育委員会の八月定例委員会は五日午後一時より全町議室に開き、小学校建築に關する町議会の情況報告、その他を協議す

湯本町藁の山保護協會（会長有賀氏）少年部では年一回行事たる海浜学校を三日より二泊三日の豫定で泉修々莊に開設した参加者は約五十名

水害対策に急救

縣、薬品を無償放出

石城郡地方事務所では今次冠水後の水稲病虫害發生により縣へ防止對策を陳情したところ、さきに本年に入つて未だ入手出來なかつた得難い加里肥料五六トンの特配をみたが、このほど縣当局の手持ち硫安銅五トンのうち三トンを（泉町の場合二三〇キロ）また展着劑五〇〇本が無償で（泉町は四四本）配給され各村とも水稻立直り策に大童である

眼科
[illegible]

植田泉境界争議

火防線特設で終止

既報＝植田、泉両町境（泉町大字下川字須賀蛭地内）境界線に關する話合いは雨のため予定を變更し去る一日午前九時から植田町側から渡邊町長ほか六名、泉町側から三瓶町長、坂本経済課長ら七名が現場に於て談合を行つた結果、双方とも和氣あいあいのうちに協定を見た

現地は新設の六號國道側に在つて海岸線まで約二粁の地点で町境界線に散在する植田側五戸、泉側五戸の開拓部落の間に小規模な境界争いが續行されてきたもので双方町当局がこれに乗り出したもので話合いの結果、さきに現地に泉町大字下川所有の火防線（延長約三〇〇米）を設けてあるのを認め、更にその線に沿つて植田側（植田町側）に幅員二間（農林省所有地）の開拓道路を特設し境界とすべく、これが關係当局に申請する明るみに出され、兩町開拓部落のしばしばの衝突もこゝにピリオドを打たれることになる

新柄の店
植田呉服店
[illegible]

夏季アルバイト
高校生 其の他
本社業務補助員
詳細 本社に御問合せ下さい
磐城日日新聞社

賑つた熊野神社大祭

錦の夏まつり

菊多方部のトップを切つた錦町御寶殿に鎮座する熊野神社（元縣社）の大祭は八月一日盛大に執行された

この日早朝より降雨に一時出足はにぶつたが午前十時頃にはすつかり空模様も好くなり植田、錦両町は人の波でごつた返し地元植田地區署は全署員が出勤交通に汗だくであつた、このため植田、錦のキャンデー屋、料理店は天てこ舞いの忙しさで嬉しい悲鳴をあげていた

また錦町江栗の星友醤油株式会社（社長星友太郎氏）では大祭の前日より鮫川橋畔、門馬自転車店屋上にアドバルーンを掲げ來町した約五万の觀衆に涼味をあおつていた

また大倉より御寶殿まで参道は延々長蛇の列で参詣人の波にごつた返していた

印刷 御用命ハ 電219

デキ死寸前を飛込で救助

海中に轉落して溺死寸前の子供を着衣のまゝ飛込んで救つた感心な人が小名浜にいる……その主は小名浜町上町竹細工職人高萩昌平さん（二八）で一日午後一時ごろ例の海上保安部前の小屋で竹細工中、附近の小名川河口の江名鐵道鐵橋から五才ぐらいの男の子供が転落しアップ〱と浮き沈みをしているのを見た高萩さんは「救けに飛び込んだらお前の命もあぶないゾ」と止める人々を押しのけて激浪の中に飛び込んで無事に救助した

高橋さんは＝不斷は泳ぎに自信がありませんですが、溺れている子供を見た時は只救けなければならぬと思い、飛び込んだので無我無中でした、当り前のことをやつたゞけで美談などゝはトンデモない と勇敢な高萩さんとも思へぬように含羞で語つた

公民館視察

山田村教職員

山田村公民館關係職員一行は來る十四日泉町の研究公民館を具さに視察する豫定

台風第五号去つて

二日は最高の暑さ

台風六号沖に反れる?

心配された颱風第五号が本土をそれて通過した後の二日は〃フエーン現象〃と云う台風通過後よく起る蒸暑さで、本年最高の三十度六分で平年より三度九分の高目であつた第五號颱の去つたあとに颱風第六號氏は硫黄島附近に発生し三日十時現在父島の南東百粁の地点を北東に向つて四ノットの速さで進行中であるが第五号颱から見て本土接近の危險は少い模樣である

開校目前に申込續々

小名濱の公民館成人學校

小名浜町公民館主催の小名浜町成人学校は愈々八月五日より開校されるが去月二十五日から申込受付を開いて以來、活發な申込みに係はその整理に大童である

申込み受付は四日迄の予定であるが各科共定員五十名で申込を締切るから希望者は大至急申込まれる樣希まれている

なお申込用紙は公民館、各種文化教育團体長の手許にあり教科目内容は郷土史、家庭園藝、町政について、野球教室、時事解説、營養のとり方、やさしい文学、音樂の聽き方となつており講師には夫々その道のオーソリテーがうん蓄を傾けて当る事になつている日程は五日開校式を行つて、二十日の閉校式迄毎夕（但し九、十六日休）午後七時から九時迄公民館内で行われる

魚菜市況 3

（小名浜中央青果市場）卵一二～一二、九大根三〇～八〇玉菜一三六～一〇玉ねぎ一〇～四二馬鈴薯三五～五〇人蔘七〇南瓜三〇～五五とまと三〇～一〇〇なす八〇～一四〇胡瓜三〇～一四〇瓜一一〇～一四〇西瓜八〇 八二ねぎ九〇枝豆（把）二、三～二 五唐君（一本）七、六なた豆五〇～一五〇

（魚市場）かつお二四〇～三五〇

天氣豫報 4

（本日）北寄りの風曇り日中時々晴でところによりニワカ雨がありましよう

（海上）おだやかな方です

鹿島村民諸賢に

（率直に申上げる）③

柏屋道人

或る地点が年々發展して何時の間にか都市となり或いは反對に嘗つては繁榮したという町が今日その面影も殘していない處もあります、このような現象の多くは、その土地の特産物や工場交通などの立地條件と變化によると思はれます、私は右の觀方から、銅や石炭などの鑛山によつた盛衰の町や、河川や、港などの交通や水産で榮える町の姿は、例えば湯本町や、小名浜、江名町などにも當てはまるように思われまも、まして古河好間や、常磐炭礦などが、爭つて泉、小名濱沿岸に海底炭田の開發に手を伸ばし或いは江名町永崎にすでに手をつけて今後の問題に備えている實相を目の前に見て、私は何となく現在の炭礦町の十年後百年後が思いやられます

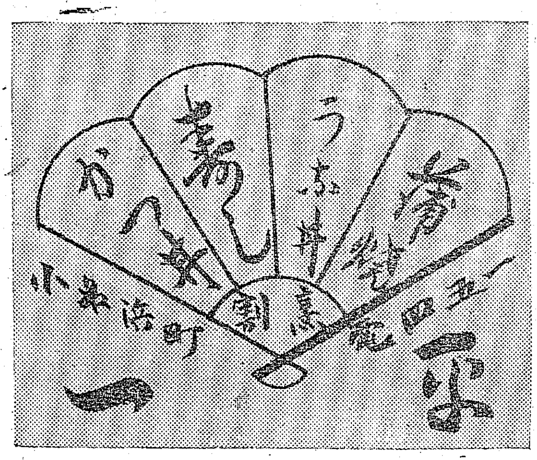
これは單に私一個人の主觀でなく、人間の力ばかりではどうすることも出來ない興亡盛衰の嚴しい法則ではないでせうか。以上の自然現象から私は小名浜や隣接町村が水産や交通という繁榮の定率が工場設置等の加速度にプラスされて相互に膨張し大都市を形成するととは想像に難くなくとの歴史的な必然性の中に大都小名浜の將來が約束されていることを確信しています

私はこのような自然的發展の約束を 人爲的に少しでも早くして人間の生活に福祉を增進させることが政治力であり、是を正しく活用する精神が政治の背骨と思います、との意味で、小名浜町が鹿島村に合併を申し込み、お互いの相互利益を「都市」という地方自治運営上の諸便法活用で、一日も早くやろうというとと以外に小名浜は何等の野心もねらいもありません

だから、皆さんの鹿島村が合併して前記の利益を享受する以上の道が現在のまゝで發見され 自立による現状でそれが可能だとすれば、合併する必要もなく、私共小名浜は貴村の犧牲において發展しようなど、夢にも思つたことはありません 「相互の協力によつて都市を造りその制度が生む両町村民協同の福祉增進」との目標と精神が御理解になるまでは、諸賢の合併問題も決定不可能と思われ、私は強いられた合併感が画く精神的な不幸を徹底的に排除する爲にも 「完全理解と納得の上に出來上つた自發的合併心」の發動による協同体としての市制のほかに健實な都市の姿も共存同榮の歩みもあり得ないと思います

小名浜の心を貴村の心とし貴村民の願いを小名浜町民の願いとする建設精神の上にのみ合併が成就するいうことを重ねて提唱し、諸賢において私共の眞意が了解されたならば、更らに一つの驚くべき事實を提供したく思つています （續く）

外科
放射線科
松田病院
結核予防法指定病院
労災保険指定病院
船員保険医
健康保険医
小名濱駅前通り



雪印 ビタミン入
アイスクリーム
客が喜ぶ…
夏の飲物 喫茶
御注文は電177番へ
國華堂賣店

4日まで
その人の名は言えない
激情の断崖
上映中
金美館

楽しかるべき夏なのに 学生バイトもせまき門

職安の窓に見る夏休の動態

夏休みが學生たちに慰樂と休養を與えたのは今は昔、高校、大學生は今日との夏期休暇をアルバイトシーズンとして酷熱下に勤勞の汗をしぼつている

以下は職安にのぞく今夏アルバイトの種々相である

昨年平職業安定所で受付けた夏休みの學生アルバイト希望者は約五十名（大学、高校生）であつたところ今夏に入つて（一日現在）高校生の求職者は男女合せて一三六名（男八六、女五〇）で二、七倍に上り、そのうち就職出來たのが僅かに三三名（男二四、女九）の四分の一程度でアルバイトも一般就職戰線に伍して狹き門の傾向が濃くなつて來た、また勤勞意欲が燃えて來たのは見逃せられない

八月に入つてから相當數の求人があるのではないかと見られるが職業安定所ではこれら対策に大童で目下求職者への親切をモットーとして求人開拓に当つている

求人側は昨年よりやゝ減少している感で現在の求人は男三〇、女一一の計四一名で男子は雑役關係が多く事務系がない、女子になると事務、店員、變つたところでは家庭教師などが主なるもので既にアルバイトに就いている男子の大半は雑役で女子は事務員が第一位を占め次に店員、家庭教師の順で、アルバイトを希望する学生の大半は口を揃えて事務系を志望し、キヤンデー賣りや土運びなどはきらつている（平職安扱い市内及び内高、四倉高生）

男子の平均賃金は日收一五〇～二〇〇圓、女子は一率に一〇〇程度になつている

なかには職安を通さない高校斡旋又は個人組で一夏二万圓近い高給を稼ぐ学生もいると聞く

求人側からの綜合的職種をみると運般や土建のような勞仂を伴なうものが多く、そのうちでも經濟的な不況を反映して裏口工作の就職（縁故など）にたよる傾向が多いものと見られ、とんなところにも狹き門の原因があるようだ

問題は職種希望

小名高は水素に働く

小名浜高校の場合前回多期間を利用し平職安小名浜分駐舍の協力で全町内日本水素工業工場の輕勞働に從事した全校アルバイト生は約四十名に及び何ずれも一人千円から四千円五百円を稼いだものもあり、學費その他の点恵まれたので、また会社側でもよく働いてくれると好意を示しているので今夏も佐藤教諭らが東奔西走アルバイト先を馳けめぐり就職百%を目指して懸命に努力しているなどアルバイト戰線も色さまざま―

平職安佐藤所長談

最近めつきりアルバイト志望者が増えて來た当所では出來るだけ早急にそして平等に全員就職を目指し努力している

ただ職種のことで希望がまちまちで困るが出來るだけ求人側と懇談したい

大沼高定時制

小名臨海合宿

大沼高校定時制生徒ら五十名は今校主事出部教諭の引率で三日から八日まで小名浜高校を宿舍に合宿訓練を行つている

農閑期を利用して學習の延長を行うもので、期間中は小名浜港湾及び魚族の棲態の研究を始め、日本水素工場、製塩工場などの見學、なお江名、豊間なども見学の豫定である

必死の捜査も手拭一本

水死体探さく困難を極む

先きに小名浜海水浴場に遊泳中、あやまつて水魔にのまれた田村郡山根村青年会長鈴木枝盛君（二四）を始め水防訓練中行方不明となつた内郷地区署勤務巡査齋藤一美（二八）松本正（二六）の両君の捜査は小名浜海上保安部、内郷、小名浜兩地區署、地元水難救護会、消防團員らの必死の捜査にもかかわらず、僅かに手拭（下川保育所と名入）一本を發見したのみで死体は三日正午現在未だ發見されていない

三日朝十時からは小名浜水難救護会では採鮑組合員全員の協力を得て傳馬船二十隻で海中を捜査している

捜査は海上保安部内火艇〃きぎく〃の應援のもとに行われているが、波にのまれてから相当の時間を經過しておりまた溺死後の潮流の早いのとで捜査は困難を來たしている

地元船員らの語るところによると

潮流が常時と方向を變えており、溺死後逸早く潮に押し流されたのではないか

と言つているところからその線に沿つて新らたな捜査も開始されている

渡邊村に稲熱病発生

渡邊村農協組合の調べによると二度の冠水をうけた全村内水田は約七ゝ五町歩であつたが、こんどはいもち病や二化メイ虫などが發生し、とくに泉田、松小屋、中釜戸地内と上釜戸の山手の一部がひどく益々蔓延する徴候はあるのでセレサン石灰ボルドー液（約八万圓）などを連日動力噴霧器を使用、部落民の動員を得て病害防除に努めているが相当量にのぼる減少はまぬかれないもよう

洋傘専門
高野昌平商店
小名浜町中島

洋服の店
都服装店
小名浜町電五五

乗合バスの歴史

こばやし生

今年は我が國に乗合自動車が輸入されてから、ちようど五十周年になる

終戰後に於ける自動車の發達は鐵道機關の戰災により復興が遅れたため非常に促進され、殊にバスの進歩は目覺ましいものがあり、アメリカからの新型バスのお目見得などによつて急速に發展し、今日との頃の東京は一日に十四万台の自動車が走り回つている（毎日紙）戰前の一番多かつた昭和十六年に比べても三倍になつているという

ところで我が國に乗合自動車が輸入されたのは明治三十年で、全四十年にはやつと十台となり、其の後バスの利用性が認められ乗合客も増え、大正十年ごろには約一万台に達した

この間明治三十六年には廣島縣の横川―可部、その他大阪、京都などに初めて乗合バス運轉事業をみたわけだが、其の後大正年間に入つても全國各地にはバス運転の機運が多かつたが、初輸入当時の貧弱そのものであつた

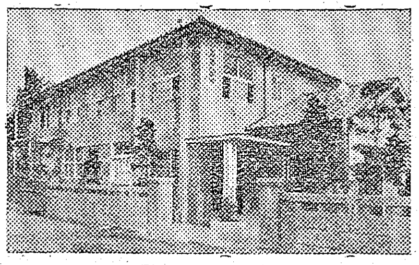
その後關東大震災で大被害をうけた鉄道の補助機關となり急速にバスに着眼、大正十三年東京市營の乗合バスがデビュー大歡迎をうけたが當時は十二人乗りという小型のものだつた

昭和時代に入つて女車掌さんが登場、國鐵の超特急號に並行して世はまさにスピード時代に移行、十三年には四十万台輸送人員年間十九億八千万人を數え、支那事変太平洋戰爭に入るやガソリン制限營業キロ數による停止など衰退が見られたが終戰直後には一万一千台二十五年には一万七千七十台に、二十六年には二萬台、輸送人員は十八億に達し戰前の最高記錄よりか國鐵の輸送人員の年間約三十三億人に伍するところとなり本年度に於ては輸送人員（定期バス路線擴張　觀光ラッシュなどで）二十七　八億人になるものと予想されている（運輸省）

昭和七年最初の國産バスとして生れたのがエンタローパス（十座席）で引續きトヨダ、日産、いすゞ、日野、民生　オオタ菱日な、新三菱の八製造會社などから現在最新大型ばす、トラック、乗用車などが生産されているのが主なもので最新ばすの傾向を見れば殆んどが車体の後部か床下面にデイーゼン・エンジンを取付けた四十人―八十人乗りの大型となつており、とゝ数年來國産ばすの性能は自他共に許す世界的水準にまで達し　二十七年度のトラック、ばすの生産高は二十二年度　一万台）に比較して約二萬四千台（日本乗自協会調べ）と二・四倍もの産出されている

（續）

外科　婦人科
産科　放射線科



黒澤醫院
小名浜第一小學校隣　電45番

新設お知らせ!!
此の度鈴木寫眞館では皆様の御要望によりカメラ部を新設、フイルムの現像、燒付、引伸を致します
是非御用命の程を!!
お待ちして居ります
技術本位
仕上優美（十八時間仕上）
鈴木寫眞館　カメラ部
小名浜町本町　電十八番

お盆用品は是非
当店を御利用下さい
戒名名入提灯　岐阜提灯
塗位牌　御靈膳　高月
ぼんぼり
其の他佛具用品各種
小名浜町西町本通11
本多造花店
電話543番

貴女のお肌がぴたりとわかる
最新式新発明 皮膚計を
御利用下さい（無料奉仕中）
より美しく、より素晴しくなる爲には御自分の肌の性質を知る事が先ず第一です
合資会社
ダルマ薬局 化粧品部
小名浜町　電話二二二番

胃腸恢復に!!
強力消化栄養剤
僕も私も パンターゼ錠
是非一度パンターゼ錠を御試用下さい。必ず貴方を胃病より解放することでしょう
サイトウ薬局
小名浜町松の中　電六七八

＝夏の御料理＝
うな丼蒲焼
生寿司　江戸前
料理
仕出し
金時
工場直送樽詰生ビール
小名浜驛前　電一二八番

◆移轉お知らせ!!
今般左の場所に移転致しましたよろしく御引立の程を願ひます
中華料理＝永盛軒
至急女給募集（十八才から廿二才まで）
委細面談の上
江名町江ノ浦役場前　電話四四〇番

社告

本社は左の者を本日限り解職致しました

平支局在勤
岡部富彌
湯本町榮田在住

本日以前右のものに於て暑中見舞又は一般廣告を申込み掲載をしていない分或は前金を御渡し下さいました方は至急本社宛直接領收証添付御連絡を御願申上げます

昭和二十八年八月三日
磐城日日新聞社

轉勤

本社 社會部記者
小林勇三
本日より植田支局在勤